

平成25年度事業報告

基本方針

県内の自治体、観光関係団体、観光事業者等が一丸となり、平成27年度末に予定される北海道新幹線新函館（仮称）開業に向けて、情報発信等の充実・強化や各地における観光コンテンツづくり、おもてなしの向上を含む観光客受入体制の整備を推進し、新幹線開業効果の持続拡大と本県観光産業の振興を図った。

また、海外からの観光客の誘致促進を図るため、韓国・台湾・中国・香港を対象に、引き続き積極的な誘客活動を展開するとともに、教育旅行及び本県観光・産業等の振興に効果が高いコンベンションの誘致に重点的に取り組んだ。

青森県観光物産館については、関係機関・団体等と連携し、観光と物産の拠点施設としての機能強化と魅力向上に努めた。また、平成21年4月の観光3団体統合から4年、公益社団法人化から1年を迎えたことから、本県観光及び産業等の情報の強力な発信と交流人口の拡大を図るため今後の取組について検討を進め、新たな中期経営計画を策定した。

〔公益目的事業〕

1 観光振興事業

（1）観光情報発信事業

① 青森県観光情報センター運営事業

地域の魅力や資源を観光コンテンツとして磨き上げ、青森ならではの観光情報を観光客や旅行エージェント等に発信し、旅行商品化に繋げるため、青森県観光情報センターを運営した。

- ◆場 所 青森市安方 1-1-40 青森県観光物産館アスパム2階
- ◆内 容
 - ・観光素材（写真データ、動画、パンフレット等）収集
 - ・地域の魅力や資源を活用した観光コンテンツづくり
 - ・着地型観光プログラムの開発、集積、提供

② 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）

本県を訪れる観光客等が観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。

③ 青森県観光情報サイトクリニック・研修事業（県委託事業）

県の緊急雇用創出事業を活用して職員を雇用するとともに、専門家に一部業務を委託し、青森県観光情報サイト「アプティネット」のリニューアルに向けた現状分析、課題抽出、サイト改良に向けた計画書（提案書）の策定等を実施した。

また、各観光情報サイトの魅力を高めるため、市町村、観光関係団体等の職員を対象にSNSの活用やデザイン力の向上等に係る研修を実施した。

◆期 間 平成 25 年 4 月～12 月

◆配置人員 3 名

◆内 容 ・青森県観光情報サイト改良に向けた提案書作成
・情報発信カススキルアップ研修の実施（県内 4 箇所）

④ 青森観光情報発信力等強化対策事業（県委託事業）

新幹線開業等の効果を継続的に獲得するため、県の緊急雇用創出対策事業を活用して観光プロモーション推進員を配置し、県内外への情報発信及び本県への誘客促進等を図った。

◆期 間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

◆配置人員 4 名

◆内 容 ・県内観光情報の収集及びソーシャルメディア等を用いた情報発信
・青森県観光物産館内イベントを通じた情報発信（10 回）

⑤ キーインフルエンサー獲得事業（県委託事業）

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

◆期 間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

◆内 容 ・本県と関連がある著名人の発掘、リストアップ
・様々なコネクションを利用した働きかけによるキーインフルエンサーの獲得
・キーインフルエンサー来県時の対応
・キーインフルエンサー及びこれに付随する本県関連情報に係る各メディアの調査等

（2）教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施した。

① 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

ア 第 1 回会議

- ◆期 日 平成 25 年 5 月 8 日(水)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 25 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第 2 回会議

- ◆期 日 平成 25 年 9 月 26 日(木)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 教育旅行誘致活動状況について
教育旅行入込実態調査の結果について

ウ 第 3 回会議

- ◆期 日 平成 26 年 3 月 24 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 25 年度教育旅行誘致活動状況について
平成 26 年度教育旅行誘致事業計画(案)について

② 教育旅行誘致資料等の制作

- ア あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配付
- ◆部 数 12,000 部

イ 青森県教育旅行ホームページの更新

ウ 教育旅行PR用DVDの制作

- ◆枚 数 700 枚

③ 教育旅行実施状況調査の実施

- ◆内 容 県内宿泊施設に対する調査
- ◆対 象 県内ホテル、旅館等
- ◆期 間 平成 25 年 5 月～8 月

④ 学校関係者・教育旅行エージェントに対する情報提供

【首都圏対策】

ア 首都圏教育旅行エージェント・学校訪問

- ◆期 間 平成 25 年 12 月 10 日(火)～13 日(金)
- ◆訪 問 先 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県のエージェント 5 社及び中学校・高等学校 10 校

イ 首都圏教育旅行エージェント・学校訪問

- ◆期 間 平成 26 年 2 月 18 日(火)～19 日(水)
- ◆訪 問 先 東京都、埼玉県内教育旅行エージェント 1 社及び高等学校 2 校

ウ 5地区合同教育旅行セミナー

- ◆期 日 平成26年2月20日(木)
- ◆場 所 東京国際フォーラム
- ◆参加者 首都圏教育旅行エージェント及び学校関係者43名

エ 首都圏教育旅行エージェント現地視察会・商談会

- ◆期 間 平成25年9月11日(水)～13日(金)
- ◆場 所 青森市、黒石市、平川市、西目屋村、弘前市、田舎館村
- ◆参加者 首都圏教育旅行エージェント3名、教育旅行誘致促進会議構成員等22名

オ 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行セミナー／主催：東北観光推進機構
- ◆全国修学旅行研究大会／主催：(公財)全国修学旅行研究会
- ◆第9回教育旅行シンポジウム／主催：(公財)日本修学旅行協会

【北海道対策】

ア 青森県教育旅行情報交換会の開催

- ◆期 日 平成25年7月18日(木)
- ◆場 所 ガーデンシティ札幌
- ◆出席者 学校関係者10名、教育旅行誘致促進会議構成員等23名

イ 道央地区旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成25年7月16日(火)～19日(金)
- ◆訪 問 先 札幌市、旭川市、小樽市、岩見沢市、苫小牧市、帯広市の旅行エージェント30社
- ◆参加者 教育旅行誘致促進会議構成員等23名

【関西圏対策】

ア 関西地区旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成25年10月3日(木)～4日(金)
- ◆訪 問 先 大阪市、神戸市の旅行エージェント10社
- ◆参加者 教育旅行誘致促進会議構成員等5名

イ 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行セミナー(大阪会場)／主催：東北観光推進機構

【その他】

ア 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行セミナー(福岡会場)／主催：東北観光推進機構

⑤ 教育旅行魅力向上・誘致拡大事業（県委託事業）【新規】

本県を教育旅行の行き先としている学校を維持するため、教育旅行エージェントや学校関係者への誘致活動を強化し、需要回復を図るとともに、新たな行き先を検討している学校に向けて情報交換会や現地視察会を実施し、新規校獲得に努めた。（対象：道南、東北）

また、教育旅行のメニューを再編し、より学校側のニーズに合った旅行プランの提案を可能にすることで、本県の教育旅行の魅力向上を図った。

ア 道南地区旅行エージェントキャラバン及び学校訪問

- ◆ 期 間 平成 25 年 10 月 9 日（水）～11 日（金）
- ◆ 訪 問 先 小学校 46 校、旅行エージェント等 10 社
- ◆ 参 加 者 教育旅行誘致促進会議構成員等 16 名

イ 北東北キャラバン

- ◆ 期 間 平成 25 年 9 月 18 日（水）～20 日（金）
- ◆ 訪 問 先 岩手県、秋田県の小学校 16 校、教育委員会
- ◆ 参 加 者 教育旅行誘致促進会議構成員等 10 名

ウ 教育旅行メニューの再編成

- ◆ 対象団体 （公社）八戸観光コンベンション協会（八戸市）
NPO 法人かなぎ元気倶楽部（五所川原市）
- ◆ 内 容 アドバイザーから助言を受けて、教育旅行向けメニューのブラッシュアップに向けたワークショップを行い、新たなプログラムを創出した。

エ 教育旅行メニュー発表会の開催

- ◆ 期 日 平成 26 年 3 月 24 日（月）
- ◆ 内 容 再編した教育旅行メニューの発表ほか
- ◆ 発 表 者 （公社）八戸観光コンベンション協会（八戸市）
NPO 法人かなぎ元気倶楽部（五所川原市）

⑥ 教育旅行研修会の開催

教育旅行の受入体制の向上及び誘客促進を図ることを目的に教育旅行受入事業者及び関係団体を対象として研修会を実施した。

- ◆ 期 日 平成 25 年 9 月 26 日（木）
- ◆ 場 所 青森県観光物産館
- ◆ 講 師 株式会社 JTB コーポレートセールスマネージャー 洪水敏孝 氏
- ◆ テ ー マ 修学旅行誘致について
～修学旅行プログラムの考え方～
- ◆ 参 加 者 県内教育旅行関係者 33 名

(3) コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の強力な動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、大学、全国団体等への誘致活動を強力に展開した。

① コンベンション誘致促進連絡会議の開催

ア 第1回会議

- ◆期 日 平成 25 年 5 月 8 日(水)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 25 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第2回会議

- ◆期 日 平成 25 年 9 月 26 日(木)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 25 年度事業の進捗状況について

ウ 第3回会議

- ◆期 日 平成 26 年 3 月 24 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 26 年度事業計画(案)について

② コンベンション誘致活動事業(県補助事業)

ア 開催団体等訪問

青森県への開催可能性があるコンベンション開催団体を中心に訪問し、コンベンション開催費助成金制度のPR及び青森県でのコンベンション開催について依頼を行った。

- ◆訪問時期 平成 25 年 12 月 12 日(木)
平成 26 年 1 月 22 日(水)～24 日(金)
- ◆訪 問 先 コンベンション開催団体等 13 団体

イ 各種イベント出展等

国際ミーティングエキスポ(IME2013)において、青森県へのコンベンション誘致活動を行った。

- ◆開 催 日 平成 25 年 12 月 10 日(火)～11 日(水)
- ◆場 所 東京国際フォーラム
- ◆ブース来場者 137 名

- ③ コンベンション開催費助成事業（県補助事業）
県外からの延宿泊者数 100 人以上のコンベンションに対し開催費を助成した。

◆交付実績 助成先 36 団体、助成金額 22,067 千円

- ④ コンベンション誘致活動支援事業（県委託事業）
県の緊急雇用創出対策事業を活用してコンベンション誘致専門員を配置し、コンベンション誘致活動等を行なった。

◆期 間 平成 25 年 4 月～平成 25 年 12 月

◆配置人員 1 名

(4) 外国人観光客誘致拡大事業

韓国・台湾・香港・中国を中心とした東アジアからの外国人観光客の誘致活動をより一層積極的に展開するとともに、県内観光事業者の受入意識やサービスの向上、外国人観光客受入体制の充実・強化を図った。

① 国際観光推進連絡会議の開催

◆期 日 平成 25 年 5 月 8 日(水)

◆場 所 青森県観光物産館

◆議 題 平成 25 年度の事業及びスケジュールについて

② 韓国人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。
ア 主力商品販売対策

(ア) 韓国エージェントファムツアー（現地視察旅行）

≪1 回目≫

◆期 間 平成 25 年 5 月 4 日（土）～7 日（火）

◆場 所 弘前市、青森市

◆招 聘 者 旅行エージェント 3 名

≪2 回目≫

◆期 間 平成 25 年 9 月 21 日（土）～24 日（火）

◆場 所 五所川原市、深浦町、鱒ヶ沢町、つがる市、十和田市
青森市

◆招 聘 者 旅行エージェント 3 名

≪3 回目≫

◆期 間 平成 25 年 11 月 1 日（金）～3 日（日）

◆場 所 青森市、十和田市

◆招 聘 者 旅行エージェント 3 名

(イ) 韓国パワーブロガー招聘

≪1 回目≫

- ◆期 間 平成 25 年 4 月 27 日(土)～5 月 2 日(木)
- ◆場 所 青森市、五所川原市、鱒ヶ沢町、深浦町、十和田市、弘前市
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2 名、ソウル事務所 1 名
- 《 2 回 目 》
- ◆期 間 平成 25 年 8 月 3 日(土)～6 日(火)
- ◆場 所 青森市、黒石市、五所川原市、鶴田町、板柳町、田舎館村、弘前市
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2 名、ソウル事務所 1 名
- 《 3 回 目 》
- ◆期 間 平成 25 年 10 月 17 日(木)～19 日(土)
- ◆場 所 青森市、黒石市、十和田市、弘前市
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2 名、ソウル事務所 1 名
- 《 4 回 目 》
- ◆期 間 平成 25 年 11 月 8 日(金)～10 日(日)
- ◆場 所 青森市、三沢市、八戸市、十和田市
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2 名、ソウル事務所 1 名
- 《 5 回 目 》
- ◆期 間 平成 26 年 2 月 9 日(日)～12 日(水)
- ◆場 所 弘前市、五所川原市、鱒ヶ沢町、青森市、十和田市
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2 名、ソウル事務所 1 名

(ウ) 韓国ドラマロケハン

韓国のテレビドラマを通じた誘客を促進するため、シナリオ作家を招聘して県内ロケハンを実施した。

- ◆期 間 平成 25 年 4 月 2 日(火)～6 日(土)
- ◆場 所 青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、鶴田町、木造町、鱒ヶ沢町、深浦町、平川市
- ◆招 聘 者 韓国ドラマシナリオ作家等 6 名、ソウル事務所 1 名

(エ) 韓国旅行社 P R 映像撮影ツアー

- 《 1 回 目 》
- ◆期 間 平成 25 年 4 月 25 日(木)～27 日(土)
- ◆場 所 弘前市、十和田市、青森市
- ◆招 聘 者 旅行エージェント「ハナツアー」3 名
ソウル事務所 1 名
- 《 2 回 目 》
- ◆期 間 平成 26 年 1 月 5 日(日)～8 日(水)
- ◆場 所 弘前市、五所川原市、青森市、三沢市
- ◆招 聘 者 旅行エージェント「ハナツアー」3 名
ソウル事務所 1 名

(オ) 旅行エージェント等への訪問

《1回目》

- ◆期 日 平成 25 年 5 月 13 日 (月)
- ◆訪 問 先 韓国旅行エージェント 3 社、韓国航空会社 1 社

《2回目》

- ◆期 間 平成 25 年 5 月 30 日 (木) ~ 31 日 (金)
- ◆訪 問 先 韓国旅行エージェント 3 社

《3回目》

- ◆期 日 平成 26 年 2 月 17 日 (月)
- ◆訪 問 先 韓国旅行エージェント 2 社

イ 閑散期販売対策

(ア) 広告支援金の交付

青森・ソウル線における韓国人利用者数の改善を図ることを目的として、販売促進に係る経費の一部を助成した。

- ◆支援商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆支 援 先 韓国旅行エージェント 6 社

ウ 教育旅行誘致対策 (各種イベント出展含む)

- ◆韓国国際観光展 KOTFA
平成 25 年 5 月 31 日 (金) ~ 6 月 2 日 (日)
- ◆日韓交流おまつり
平成 25 年 9 月 15 日 (日)
- ◆京畿国際観光博覧会
平成 25 年 11 月 8 日 (金) ~ 10 日 (日)
- ◆トラベルマート 2013
平成 25 年 11 月 28 日 (木) ~ 29 日 (金)

③ 台湾誘客拡大戦略事業

本県の知名度向上を図るとともに、本県向け旅行商品の造成を促進するため、旅行エージェントへの広告支援などを実施した。

ア 広告支援金の交付

青森・台湾線のチャーター便及び閑散期における台湾・仙台線、台湾・函館線を活用して来青した台湾人観光客による県内宿泊施設の利用促進を目的として、県内宿泊を伴う販売促進に係る経費の一部を助成した。

- ◆支援商品 青森・台湾線チャーター便における台湾発青森旅行商品
- ◆支 援 先 台湾旅行エージェント 9 社

イ 旅行エージェント等への訪問

台湾からの誘客促進を図るため、県と共同で台湾旅行エージェント等を訪問し、観光情報の提供、商品造成の働きかけを行った。

《1回目》

- ◆期 日 平成 25 年 5 月 31 日（金）
- ◆訪 問 先 台湾旅行エージェント 5 社

《2回目》

- ◆期 日 平成 25 年 9 月 23 日（月）
- ◆訪 問 先 台湾旅行エージェント 1 社、台湾航空会社 3 社

ウ 観光客等お出迎え対応

青森空港へのチャーター便等による海外からの観光客等の来県に合わせて、県と連携した歓迎対応を実施した。

- ◆期 間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 1 月
- ◆回 数 12 回

④ 香港誘客拡大戦略事業

情報発信能力の高いインフルエンサーを招聘し本県の知名度向上を図るとともに、誘客拡大を図るため、現地旅行エージェントの招聘及び招聘者による講演会と県内事業者との交流会を実施した。

ア エージェント招聘によるファミツアー（現地視察旅行）

- ◆期 間 平成 25 年 4 月 21 日（日）～24 日（水）
- ◆場 所 青森市、弘前市、八戸市、十和田市、三沢市、平川市
- ◆招 聘 者 旅行エージェント 3 名

イ 講演会

- ◆場 所 ホテル青森
- ◆開 催 日 平成 25 年 4 月 23 日（火）
- ◆講 師 E G L ツアーズ 社長 袁 文 英 氏
- ◆テ ー マ 香港からの誘客について
- ◆参 加 者 県内観光関係者等 92 名

⑤ 東アジア情報発信強化事業（県委託事業）

県の緊急雇用創出対策事業を活用して外国語専門家を配置し、韓国、台湾、香港等をターゲットとして SNS などを活用した情報発信を行った。

また、県内観光業者等の多言語化支援として、外国語セミナーや翻訳支援等を行った。

- ◆期 間 平成 25 年 4 月～12 月
- ◆配置人員 3 名（英語担当、韓国語担当、中国語担当）

⑥ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

なお、平成 25 年度及び平成 26 年度は本県が所長当番県のため、当連盟から職員 1 名を派遣した。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

- ・ 設置場所 大韓民国ソウル特別市中区南大門路 韓進ビル本館 7 階
- ・ 運営主体 東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会
- ・ 構 成 員 北海道、青森県、岩手県、秋田県、(一社)北海道貿易物産振興会、(公社)青森県観光連盟、(公財)岩手県観光協会、(一社)秋田県観光連盟

イ 事業内容

(ア) 北東北 3 県・北海道韓国旅行エージェント商談会及びスキー・スノーボード情報交換会

《第 1 回商談会》

- ◆ 期 日 平成 25 年 9 月 25 日(水)
- ◆ 場 所 ソウル市 「ザ・プラザ」
- ◆ 参 加 者 日本側=4 道県 39 名 (青森県 6 団体 8 名)
韓国側=旅行エージェント・ランド社 45 名
メディア 4 名
航空会社等 4 名

《情報交換会》

- ◆ 期 日 平成 25 年 9 月 25 日(水)
- ◆ 場 所 ソウル市 「ザ・ビュッフェ」
- ◆ 参 加 者 日本側=4 道県 35 名 (青森県 6 団体 8 名)
韓国側=スキー・スノーボード愛好者 112 名

《第 2 回商談会》

- ◆ 期 日 平成 26 年 2 月 18 日(火)
- ◆ 場 所 ソウル市 「ザ・プラザ」
- ◆ 参 加 者 日本側=4 道県 37 名 (青森県 10 団体 13 名)
韓国側=旅行エージェント・ランド社 117 名
メディア 10 名
航空会社等 9 名

(イ) 旅行商品造成支援

(ウ) ホームページの運営 (<http://www.beautifuljapan.or.kr>)

(エ) 各種イベント出展

(オ) 各種物産販路拡大事業

⑦ 五所川原ファミツアー事業（五所川原市委託事業）【新規】

五所川原市及び津軽半島の魅力を活かし韓国人観光客の誘致拡大を図るとともに、宿泊型観光を目指すため韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

- ◆期 間 平成 25 年 8 月 3 日(土)～6 日(火)
- ◆視 察 先 津軽三味線会館、斜陽館、津軽鉄道、五所川原立佞武多、十三湖等の五所川原市観光資源及び白神山地・西海岸の観光資源
- ◆招 聘 者 韓国旅行エージェント 3 社 3 名

(5) 観光キャンペーン推進事業

J R 東日本や(公社)日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、青森デスティネーションキャンペーンのキャッチフレーズ「行くたび、あたらしい。青森」とマスコットキャラクターの「いくべえ」を引き続き本県観光PRのキャッチフレーズ及びキャラクターとして活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成や首都圏等での観光説明会の開催などを通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

① 宣伝広報事業

ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

県内外の各種観光キャンペーンイベント等において本県観光のPRを行う「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」を任命した。

- ◆人 数 4 名
- ◆任 期 平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

イ 観光ガイドブック等の作成

(ア) あおもり紀行ガイドブックの作成

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、ホットな話題やイベント、観光施設等の情報を掲載した本県の旅の総合案内として「あおもり紀行ガイドブック」を作成した。

- ◆作成部数 夏・秋号 15 万部
冬・春号 15 万部
- ◆発行時期 夏・秋号 平成 25 年 5 月
冬・春号 平成 25 年 10 月

(イ) キャンペーン用ビニール袋の作成

各種キャンペーンイベントでパンフレット等を配付するためのキャンペーン用ビニール袋を作成した。

◆制作部数：20,000 枚程度

ウ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

JR五能線で運行されている「リゾートしらかみ」及び津軽線・大湊線等で運行されている「リゾートあすなろ」の各協議会に参画し、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレットの作成や各種イベント等に参画した。

エ 航空路線活用対策

青森空港振興会議や航空会社等と連携を図りながら、九州地方や中国地方等からチャーター便を利用して来県する観光客に対して歓迎イベント等を実施した。

オ 広告宣伝の展開等

各種新聞・雑誌等において本県の観光資源の魅力を紹介する広告宣伝を展開するとともに、マスコミ等の県内取材に対し積極的に協力した。

カ 観光イベント等への参画

東日本旅客鉄道（株）や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップして、首都圏等で観光イベントを積極的に展開した。

(ア) 2013 食博覧会・大阪

◆期 間 平成 25 年 4 月 26 日（金）～5 月 6 日（月・祝）

◆場 所 インテックス大阪

◆主 催 食博覧会実行委員会、（一社）大阪外食産業協会

(イ) 2013 夏の海と山観光展

◆期 間 平成 25 年 6 月 23 日（日）～24 日（月）

◆場 所 JR大宮駅

◆主 催 （公社）日本観光振興協会関東支部

(ウ) 白神山地 20 周年記念イベント「白神山地出前講座」

◆期 日 平成 25 年 7 月 6 日（土）

◆場 所 よみうりホール（東京都）

◆主 催 JR東日本

(エ) 白神山地・鹿児島共同イベント

- ◆期 日 平成 25 年 7 月 25 日 (木)
- ◆場 所 マルヤガーデンズ (鹿児島市)
- ◆主 催 青森県、鹿児島県

(オ) ハイウェイフェスタとうほく

- ◆期 間 平成 25 年 9 月 21 日 (土) ~ 22 日 (日)
- ◆場 所 仙台市勾当台公園市民広場
- ◆主 催 東日本高速鉄道 (株) 東北支社

(カ) 青森人の祭典 (東北復興大祭典なかの)

- ◆期 間 平成 25 年 11 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日)
- ◆場 所 東京都中野区
- ◆主 催 東京青森県人会

(キ) 冬の旅・早春の旅観光展

- ◆期 間 平成 25 年 11 月 17 日 (日) ~ 18 日 (月)
- ◆場 所 横浜駅新都市プラザ
- ◆主 催 (公社) 日本観光振興協会関東支部

(ク) ふるさと祭り東京 2014

- ◆期 間 平成 26 年 1 月 10 日 (金) ~ 19 日 (日)
- ◆場 所 東京ドーム
- ◆主 催 ふるさと祭り実行員会

(ケ) その他

県内外で開催される各種観光イベント、観光物産展等に積極的に参画し、観光コーナーの設置、あおもり紀行キャンペーンスタッフによる観光PR等を行った。

② 誘客対策事業

首都圏及び関西圏からの誘客を強力的に促進するため県と共同で旅行エージェント等を対象とした観光セミナーを開催し、本県観光PRや商談会により、旅行エージェントにおける本県向け旅行商品の造成促進等を図った。

ア 首都圏における青森県観光セミナーの開催

- ◆期 日 平成 25 年 7 月 12 日 (金)
- ◆場 所 ホテルメトロポリタン (東京都豊島区)
- ◆内 容 個別商談会、観光セミナー (知事トップセールス)、
情報交換会
- ◆出 席 者 交通事業者・旅行エージェント 127 名、記者 20 名
県内観光事業者 37 名

イ 関西圏における青森県観光セミナーの開催

- ◆期 日 平成 25 年 5 月 31 日(金)
- ◆場 所 ホテルグランヴィア大阪
- ◆内 容 個別商談会、観光セミナー（知事トップセールス）
情報交換会
- ◆出 席 者 旅行エージェント等 39 名、記者 26 名
県内観光事業者 24 名

③ 旅行エージェントセールス強化事業（県委託事業）

旅行エージェントの商品造成や販売の時期を捉え、本県の観光や食などの魅力を提案・PRするためのエージェントセールスを実施するとともに、旅行商品の効果的な販売促進を図るため、旅行エージェントの店舗におけるキャラバン等を実施した。

ア 旅行エージェントセールスの実施

- ◆時 期 6 月、11 月及び 2 月
- ◆訪 問 先 首都圏、名古屋市、大阪市、福岡市
- ◆内 容 旅行エージェントへの集中訪問による商品造成の促進

イ 販売店舗キャラバンの実施

- ◆時 期 平成 25 年 5 月～12 月
- ◆場 所 首都圏 JR 主要駅びゅうプラザ・旅行会社店舗等 41 箇所
- ◆内 容 観光パンフレット配布や津軽三味線演奏、キャンペーン
スタッフ・マスコットキャラクターによる観光 PR

ウ 観光ポスターの制作・掲出

- ◆規 格 B 1 判、4 C
- ◆枚 数 4,000 枚
- ◆掲出場所 首都圏・東北地域の JR 主要駅等

④ 白神山地 20 周年記念誘客事業（県委託事業）【新規】

白神山地が平成 25 年 12 月に世界自然遺産登録 20 周年を迎えることから、白神山地及び周辺の観光地を PR するツールとして、あおもり紀行冬・春版を作成し、イベント等で使用した。

- ◆作成部数 35 万部
- ◆発行時期 平成 25 年 10 月

⑤ 結集あおり情報力事業（県委託事業）【新規】

本県の観光情報を幅広く発信するため、首都圏で戸別に配布される情報媒体に観光記事広告を掲載した。

◆期 日 平成 25 年 6 月

◆場 所 東京都、神奈川県 40 万部

⑥ 三陸復興国立公園指定・白神山地 20 周年等観光キャンペーン推進事業

（県委託事業）【新規】

平成 25 年 5 月に種差海岸等が三陸復興国立公園に指定されたことや、12 月には世界自然遺産白神山地が登録 20 周年の節目を迎えたことから、県の緊急雇用創出対策事業を活用して観光キャンペーン推進員を配置し、県内外での観光キャンペーンや観光情報発信等を重点的に実施した。

ア 観光キャンペーン推進員の配置

◆期 間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

◆人 員 観光キャンペーン推進員 4 名

イ 三陸復興国立公園の P R

「行くたび、あたらしい。青森」三陸復興国立公園（種差海岸・階上岳）指定記念観光キャンペーン in 大宮の開催

◆期 間 平成 25 年 6 月 25 日（火）～30 日（日）

◆場 所 J R 大宮駅西ロイイベントスペース

◆内 容 三陸復興国立公園等パネル展示、郷土芸能の披露、あおり紀行キャンペーンスタッフ及びイサバのカッチャダンサーズによる観光 P R、ご当地キャラクター着ぐるみによる観光クイズプレゼント、体験コーナー設置等

ウ 白神山地の P R

「行くたび、あたらしい。青森」白神山地世界自然遺産登録 20 周年記念観光キャンペーン in 上野の開催

◆期 間 平成 25 年 7 月 4 日（木）～10 日（水）

◆場 所 J R 上野駅（ギャラリー、グランドコンコース）

◆内 容 白神山地世界自然遺産登録 20 周年 P R パネル展示、郷土芸能の披露、あおり紀行キャンペーンスタッフ及び弘前城ミス桜による観光 P R、ご当地キャラクター着ぐるみによる観光クイズプレゼント、体験コーナー設置等

エ その他マスコットキャラクター等を活用したイベント参画

◆期 間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

◆場 所 県内外の観光施設・交通拠点等

- ⑦ 「青森県フェア」における観光PR実施事業（県委託事業）【新規】
 県が県外の小売量販店で実施する「青森県フェア」において、本県の観光PRを行い、本県の誘客促進を図った。
- ◆期 間 平成 25 年 10 月 13 日（日）～14 日（月）
 - ◆場 所 イトーヨーカドー久喜店、ヨークマートモラージュ
 菖蒲店
 - ◆内 容 ・ステージイベントにおける観光PR
 ・ねぶた囃子実演

(6) 受入体制整備事業

- ① 観光案内所運営事業（県委託事業）
 青森県東京観光案内所を運営し、本県観光情報の発信や問合せへの対応を行うとともに、県内観光案内所の連携による観光情報の提供及び観光案内体制の充実強化を図った。

ア 青森県東京観光案内所の運営（県委託事業）

- ◆所 在 地 東京都千代田区富士見 2-3-11 青森県会館 1 階

- ② 「もてなしの心」運動推進事業【県補助事業】

ア クリーン大作戦の実施

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切に、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部と連携し、「春のクリーン大作戦」を開催した。

- ◆期 日 平成 25 年 4 月 27 日（土）
- ◆場 所 県内各地
- ◆参加人数 約 10 万人

イ 観光ボランティアガイド県大会の開催

観光ボランティアガイド県大会を開催し、先進事例の研修や活動事例発表などを通じ、ガイド団体相互の情報交流、ガイドのスキルアップを図った。

- ◆期 日 平成 25 年 11 月 2 日（土）
- ◆場 所 スポカルイン黒石
- ◆内 容 黒石市内視察研修、協議会加盟団体活動発表、高橋家
 14 代当主高橋幸江氏の特別講演

ウ ほほえみプロデュース講習会の開催

観光客を温かくもてなすための気運醸成を図るため、青い森のほほえみプロデュース推進協会が行う「ほほえみプロデュース講習会」を県内の観光事業従事者等を対象に開催した。

- ◆期 間 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月
- ◆開催場所 県内各地

◆受講人数 約 700 人

(7) その他観光振興事業

① 観光リーダー実践研修の実施

地域の魅力を活かしたコンテンツづくりやおもてなしの取組みなど、本県の観光振興の中核となる地域の人材の育成と活用を図るための研修事業を実施した。

≪第1回≫

- ◆期 日 平成 25 年 11 月 13 日 (水) 13:30~16:00
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 (株)読売広告社 次世代モノづくり研究所
所長 田中 操 氏
- ◆テ ー マ 「観光コンテンツの原石発掘」「観光コンテンツの磨き方と発掘」
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 48 名

≪第2回≫

- ◆期 日 平成 25 年 12 月 5 日 (木) 13:00~16:00
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 JTB総合研究所 主任研究員 倉谷 裕 氏
- ◆テ ー マ 「実践!いつやるの?・・・」「あるもの探し」で地域のオンリーワンを磨き上げる
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 41 名

≪第3回≫

- ◆期 日 平成 26 年 2 月 3 日 (月) 13:30~16:00
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 (株)びゅうトラベルサービス 国内事業本部
大人の休日旅行部 部長 山本 周二 氏
- ◆テ ー マ 発地への情報発信、楽しめる観光コンテンツの作成、販売方法など
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 54 名

② 観光功労者表彰

観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰した。

【個人】

- ・大見光男 氏 (大間町観光協会会長)
- ・東 壽一 氏 (南部町観光協会会長)
- ・高橋博美 氏 (一般社団法人三沢市観光協会顧問)
- ・前田光義 氏 (三厩観光協会顧問)

【団体】

・十和田湖自然ガイドクラブ（代表 吉崎明子）

③ 観光振興事業【県補助事業】

ア （公社）日本観光振興協会の全国広域観光振興事業への拠出
（公社）日本観光振興協会が実施する全国的または重点的な事業に対し拠出した。

イ 観光情報等提供事業

本県への旅行の動機付け及び誘客促進のため、旅行情報誌等を活用し、本県の魅力ある観光資源の情報提供を行った。

④ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会に参加し、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備、誘客促進及びPRに努めた。

イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構に参加し、広域観光の推進を図った。

2 青森県観光物産館管理運営事業

観光・物産の情報発信拠点である青森県観光物産館アスパムの機能強化と魅力向上を図り、展望台・パノラマ映画などの各種展示コーナー、地場セレクトなどの物産販売店、会議室等の管理・運営、市町村と連携したイベント等の開催を通じ、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などを総合的に紹介・宣伝した。

（１）観光資源紹介事業

青森市内唯一の展望施設である地上51メートルの展望台、360度の全周映像で県内40市町村の四季の自然や祭り、郷土芸能等の観光資源を紹介するパノラマ映画をはじめ各種展示コーナーの管理・運営等を行った。

（２）貸会議室事業

館内の会議室を、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などの振興や地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

（３）青森県地場セレクト運営事業

県内地場産品の掘り起こしを進め、こだわりやストーリー性のある地場

産品を紹介・販売する「青森県地場セレクト」の運営を行い、店舗での消費者の反応や改良点などを生産者にフィードバックし、商品改良・販路拡大に活用し、地域や産業の振興を図った。

(4) テナント事業

青森県の主要な産業の一つであるエネルギー施策PRの展示・体験施設と雇用促進関連事業であるハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その活動及びサービスの場を提供することにより、本県の産業の振興を図った。

(5) PRホール運営事業

アスパム1・2階において、市町村の観光、物産、郷土芸能、民芸品を紹介・宣伝するとともに、本県を代表する郷土芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館等との連携展を開催した。

(6) 施設管理運営事業

節電と経費節減を図るため、活性化積立引当預金を活用し館内照明LED化を平成23年度からの3か年計画により実施するとともに、引き続き館内の節電を進めた。

(7) イルミネーション等観光開発事業

アスパムへの誘客とベイエリアの魅力向上を図るため、活性化積立引当預金を活用しベイエリア周辺施設と連携したイルミネーション等によるイベントを開催し、本県への一層の誘客促進を図った。

〔収益事業〕

1 イベントスペース・貸会議室事業

アスパム館内のイベントスペース及び会議室（11室）を各種会議や催事会場として貸出した。

2 テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）をテナントとして入居させ、青森県の物産と食の魅力を提供した。

3 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館アスパム来館者等の利便性向上を図るため、一般及びバス駐車場を管理・運営した。